

Esri User Conference 体験記

慶應義塾大学 川久保俊

1. はじめに

思いもかけず 2012 年初夏に Esri Young Scholars Award の受賞通知の連絡が入り、同年 7 月開催の Esri User Conference（以下、UC と略記）に参加する機会を頂きました。Esri User Conference とは世界中の GIS ユーザーが一年に一回一堂に集う国際会議で、GIS に係わる新しい技術、製品、機能の発表や GIS を用いた研究成果の発表などが行われる場です。2012 年度に新設された Esri Young Scholars Award は GIS を用いた学生の研究活動を奨励する目的で設立されたもので、その受賞者は UC へ招待され、諸外国の GIS 研究に触れる機会を得ることができるという制度です。今回幸運にもこの身に余る賞を頂き、UC に参加する機会を得たのでその体験記を以下に報告致します。

2. 国際会議の概要

2012 年度の UC は米国サンディエゴにて 7 月 23 日から 27 日の日程で開催されました。世界各国から 1 万 5 千人以上の GIS 関係者が集い、日本からも GIS ユーザー、関連製品のデベロッパー、研究者、Esri 社員など 100 名以上が UC に参加しました。私も Esri ジャパン社が企画した UC 視察ツアーに便乗させて頂く形で 21 日に日本を発ち、同日米国入りしました。UC 開催に先立つ 22 日には日本からの参加者の交流や親睦を深めるために、Esri ジャパン社主催のウェルカムパーティーが開催されたので当方もこれに参加させて頂きました。国内でも普段はなかなかお目にかかれないような著名な GIS 関係者と意見交換することができ、非常に有意義な会でした。翌 23 日は UC 開会式およびプレナリーセッションが開催され、Esri 社の Jack Dangermond 社長をはじめ、GIS に係わる著名人の講演が行われました。GIS を用いて描画された多数の地図が紹介され、聴講者の関心を集めていました。GIS の活用事例として米国の高校生やホノルル市の自治体職員によるケーススタディの紹介も行われました。また、現在の GIS に係わる開発動向としてクラウド GIS という概念の紹介が行われ、この概念を具現化する仕組みとして Esri 社が新たに提供する ArcGIS Online などの紹介も行われました。同日午後には GIS 活用事例をポスターで紹介する GIS マップギャラリーが開催され、各国の GIS 関係者が作成したポスターが会場内に一斉に貼り出されました。私もこの場でポスター発表をさせて頂きましたが、各国の GIS 関係者の質疑に応答する中で有意義なご意見を多数頂き、実り多い発表の機会となりました。

24 日～26 日には GIS 関係者による研究成果発表や ArcGIS のエクステンションの機能紹介を行うテクニカルワークショップが連日開催されました。日本の東京ビッグサイトや幕張メッセに匹敵するくらい大きな会場内にはワークショップで紹介された機能を実際に体験できるブースも設置されており、多くの来場者で賑わっていました。個人的に興味深

かったのは、Microsoft 社の Office 製品と連携したエクステンションに関するデモンストレーション発表で、表計算ソフトの Microsoft Excel 上のデータからマップを作成し、その結果をプレゼンテーション用ソフトの Microsoft PowerPoint 上で動的に表現できるという優れたものです。ブースにてこのエクステンションを体験する機会を得たので、ダミーデータを入力してマップを作成し、発表用資料に起こしてみるところまで一連の作業を実施してみました。操作は直感的に行うことが可能で実に簡単でしたが、その割に非常にインパクトのあるプレゼンテーション資料が作成できそうな印象を受けました。その一方で、2012 年 7 月時点においては同エクステンションを利用する際、ユーザーアカウントを新規に作成することが必要である他、言語が英語のみの対応であること、日本の対応データの不足などもあり、即座に研究やビジネス等に使用するのはやや難しそうな印象も受けました。しかしこの点に関しては後々解消されることになると思うので、今後の活用機会の拡大に期待したいと思います。その他、UC 期間中の 25 日夕刻に Young Scholars Award の授賞式が、26 日の夕刻には Esri 社主催のナイトパーティが開催されたのでそれぞれに参加しました。前者では、Esri 社の Jack Dangermond 社長と受賞記念撮影をする機会を得ました。後者では、多くの GIS 関係者の方々と夕食を囲みながら楽しく親睦を深める機会を得ました。

3. 結び

UC の期間中、様々な研究発表や新製品・新機能の紹介、各種イベントが行われ、楽しみながら有益な知見を得ることができました。また国内外の著名な GIS 研究者から今後の研究に役立つ貴重な情報を頂く機会も得ました。今後は今回 UC に参加して得たことを糧としながら一層 GIS に関する研究に精進していきたいと思います。なお当方の研究を推進するにあたっては、Esri ジャパン社の皆様、諸先生方、その他関係各位に多大なご支援とご協力を頂きました。末筆ながらここに記して深甚の謝意を表する次第です。

写真

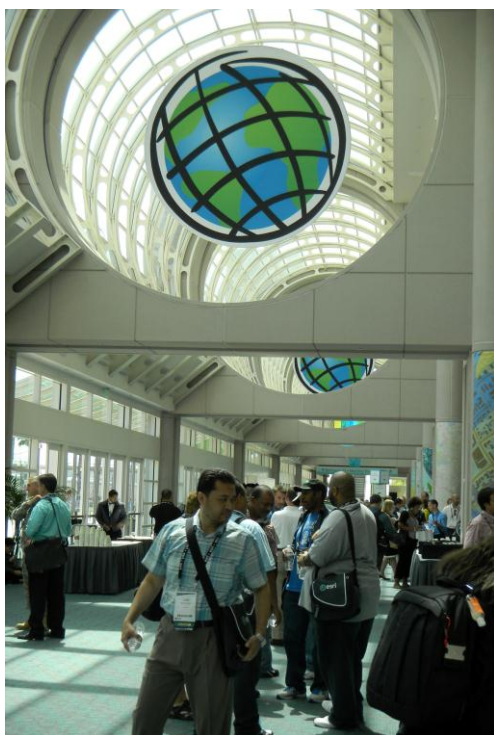


Fig.1 UC 会場内の様子 (左) Fig.2 ポスター発表の様子 (右)



Fig.3 テクニカルワークショップの様子 (左) Fig.4 ブースの様子 (右)



Fig.5 Young Scholars Award 授賞記念写真 (左) Fig.6 Esri 社主催のナイトパーティ (右)